

【目次】

地 域	No.	意 見 ・ 質 問	対応状況	担当課
野市町	1	香南市の地産地消について	完	農林水産課
野市町	2	香南市の防災対策について	完	防災対策課 建設課
野市町	3	児童公園について	完	住宅政策課
野市町	4	ふるさと納税について	完	商工観光課
野市町	5	ICTの活用による業務軽減と効率化について	完	こども課 学校教育課
野市町	6	手話の普及について	完	福祉事務所
野市町	7	農業生産と宅地化のバランスについて	完	農林水産課
野市町	8	野市東こども園の登園時の混雑解消について	完	こども課
野市町	9	移住者の定着について	完	地域支援課 農林水産課

NO.	野市町	1		対応状況	完
	香南市の地産地消について				
受 付	令和7年4月11日 金曜日 野市町市民懇談会で意見聴取				
意見・質問	香南市の野菜とか水産物を使って地産地消をしてほしい。 最近、東洋ライスさんとも提携を結ばれたようだが、小学校など、学校給食だけでなく、香南市民向けの地産地消の取り組みは考えているか。				
地域への 対応状況等	■当日回答■ 【 市長 】 特別栽培米や有機農業など幅広い品目に対して、耕作意欲のある方に来ていただき、耕作放棄地や、やり手がなくなった農地を利用し、農業を振興していきたいと思います。 昨年、大阪府泉大津市と農業に関する連携協定を結び、農業公社が特別栽培で作った米(5ヘクタール分)を、昨年の秋から販売しています。香南市でも、特別栽培米を、学校給食に提供することを目的に、今作から栽培を開始しています。 市としてやるべきことは、出荷先をしっかりと確保することと考えています。 連携については、東洋ライス株式会社で精米される金芽米や、同じく連携協定を結んでいる高知食糧株式会社の物流のノウハウを生かした取組を、香南市の農業を中心とした産業の発展につなげていきたいと考えています。				
	■後日回答■ (1回目) ・対応日 令和7年 月 日 () ・対応課 課 ・対応方法 ・対応結果 (2回目) ・対応日 令和7年 月 日 () ・対応課 課 ・対応方法 ・対応結果				
担当課	農林水産課				

NO.	野市町	2		対応状況	完
	香南市の防災対策について				
受 付	令和7年4月11日 金曜日 野市町市民懇談会で意見聴取				
意見・質問	地震時における住民の避難について市はどのような対策を行っているか？ 例えば古い橋の耐震化や避難経路の安全対策等を教えてもらいたい。				
地域への 対応状況等	■当日回答■ 【 防災対策課 】 南海トラフ地震発生を想定した避難路対策につきましては、後日、取りまとめて回答します。				
	■後日回答■ 【 防災対策課 】 主に南海トラフ地震を想定した避難行動に関する対策としては、まず、津波ハザードマップによる浸水深や時間の情報提供、市の広報誌『こうなんNOW』の「防災のススメ」による啓発、自主防災組織を主体とした避難訓練の推進などがあります。 その他に、倒壊した住宅等が避難路を塞ぐ事にならないよう、住宅耐震化促進事業や老朽住宅等除去事業、ブロック塀の改修などがあります。具体的には、それぞれについて補助金がありますが、まずはそれを知っていただくために、主要な避難路を歩き、対象者への声掛けを行ったり、住民等の情報による現地確認や不在者への手紙等の送付を行っています。 【 建設課 】 橋の耐震性については、緊急輸送道路は確認しており、それ以外の道路の橋は数も多く、確認できておりませんが、橋の健全性を確認する定期点検を継続して実施します。 (1回目) ・対応日 令和7年4月28日(月) ・対応課 防災対策課、建設課 ・対応方法 本庁での対面 ・対応結果 質問事項を確認し、後日に直接回答する旨を確認しました。 (2回目) ・対応日 令和7年 月 日 () ・対応課 課 ・対応方法 ・対応結果				
担当課	防災対策課 建設課				

NO.	野市町	3		対応状況	完
	児童公園について				
受 付	令和7年4月11日 金曜日 野市町市民懇談会で意見聴取				
意見・質問	野市町は住宅化が進んでいるが、児童公園などが民家に近すぎて、ボールが飛んでいくとか、遊ぶ声がうるさいなど、放課後の遊び場に困っていると考えられる。 ボール遊びとか遊具がある公園だけでなく、空いている畑とか空き地を地域のコミュニティが「児童公園」と認定し、これから住宅地化していくところにおいて、放課後、「地域の子どもたちが集まれる場」として考えてもらうことはできないか。				
地域への 対応状況等	■当日回答■ 【 市長 】 香南市内で公園と呼ばれるものが170カ所程度あります。それが多いのか少ないかは恐らく多い方だと思います。 しかし御指摘のとおり、農地だったところに家が建って、野市町で遊び場がなく「公園が欲しい」状況だと思います。 のいち動物公園もありますし、よく見たら公園というものは、あるのだと思いますが、遊び場となるものがなかなかなく、野市町では「公園が欲しい」というニーズあります。 その部分も含めて公共施設マネジメントで、グラウンドなど、そういったものも含めた議論をしています。				
	■後日回答■ 【 住宅政策課 】 ※当日回答への補足 公共施設マネジメントで、児童公園や、グラウンドなど、そういったものも含めたその中で、今後、議論をしていく予定です。全体のバランスを見て、今ある施設の有効活用を促進しながら、これから作るものは作り、やめるものはやめていこうということで話を進めているところです。 (1回目) ・対応日 令和7年 月 日 () ・対応課 課 ・対応方法 ・対応結果 (2回目) ・対応日 令和7年 月 日 () ・対応課 課 ・対応方法 ・対応結果				
担当課	住宅政策課				

NO.	野市町	4		対応状況	完
	ふるさと納税について				
受 付	令和7年4月11日 金曜日 野市町市民懇談会で意見聴取				
意見・質問	ふるさと納税では、地方団体が団体同士で競争するということもあると思いますが、香南市の場合、どれぐらいの収益があるのかを教えてください。				
地域への 対応状況等	■当日回答■ 【 市長 】 令和4年が2億5000万、令和5年が3億3000万、去年が5億3000万ぐらいになっております。今年度は5億5000万円以上を目指しています。我々もふるさと納税額は極力増やしていきたいと考えています。 令和6年に5億円を超えたのは、ふるさと納税の返礼品を提供していただいている事業者の方々の工夫を、しっかりと我々がアピールができる体制を整えられたためです。 しかし、今以上に寄付額を増やすとなるとやはり、職員の数と様々な経費をかけなければいけません。行財政改革を進める中で、職員の配置であったり、配分、そしてまた、様々な部分を精査して、増やせるような体制づくりを考えています。				
	■後日回答■ (1回目) ・対応日 令和7年 月 日 () ・対応課 課 ・対応方法 ・対応結果 (2回目) ・対応日 令和7年 月 日 () ・対応課 課 ・対応方法 ・対応結果				
担当課	商工観光課				

NO.	野市町	5		対応状況	完
	ICTの活用による業務軽減と効率化について				
受付	令和7年4月11日 金曜日 野市町市民懇談会で意見聴取				
意見・質問	ICTの活用による業務軽減と効率化ということで、クラウド環境の効率効果的な活用による教員業務の合理化・効率化というところ。活用の内容等で、どれだけの業務が軽減されるかということと、クラウド環境の効率的な会議、活用というのがどういう内容で、どういう効率化が行われるか具体的なところを教えてください。 実質的なところで、本来業務が、非常に簡単になったとか楽になったとかだけでなく、結果が市民に戻るような、そういうシステムを入れていただきたい。				
地域への 対応状況等	■当日回答■ 【 こども課 】 幼稚園、保育所、こども園では、連絡帳への記入や週案・日案などの計画を作成すること、お昼寝をしているときに、あおむけに寝ているのを目視で15分ごとに確認をするなどの様々な業務があります。そういった業務をICTを活用することによって少しでも軽減できないか、昨年の秋ごろから、いろいろな業者がつくっているシステムの一部ですが、現場の職員と一緒に体験をしたり、導入している自治体の情報を集めたりしているところです。 システムは一度導入すると入れ替えることが大変になりますので、本年度は現場の職員と一緒にしっかり研究をしたいと考えています。 【 学校教育課 】 教員業務の合理化については、クラウド環境に、社会科ならば社会科の学習内容を共有することで教材の共有化ができ、皆で教材を活用できます。 また、会議の内容を事前に確認することで、会を開かなくても会の内容を共有出来たりと、効果的な活用を、市内の各学校に広げている段階です。 今後、香南市ではどういったことが取り組めるのか、他の自治体が行っていることなども参考にしながら、今検討を進めているところです。しかし、実際にどういったことを取り組むかという詳しい内容までには至っていません。				
	■後日回答■ (1回目) ・対応日 令和7年 月 日 () ・対応課 課 ・対応方法 ・対応結果 (2回目) ・対応日 令和7年 月 日 () ・対応課 課 ・対応方法 ・対応結果				
担当課	こども課 学校教育課				

NO.	野市町	6		対応状況	完
	手話の普及について				
受 付	令和7年4月11日 金曜日 野市町市民懇談会で意見聴取				
意見・質問	市長の説明の中で、「暮らしを守り、人にやさしいまちへ」という部分の、下から2番目の「手話を学ぼう」という項目ですが、お話を聞かせてほしい。 今後、市民の皆さんに普及するという手段で、手話言語に関するチラシを配布するとあるが、ほかに何かこれから取り組もうとしていることなどを教えてほしい。				
地域への 対応状況等	■当日回答■ 【 市長 】 本市は昨年度から手話言語条例を制定しまして、手話の普及ということで、職員研修もしています。私も研修を受けましたし、毎年人権フェスティバルでは、手話通訳の方に来ていただいて、その活動と手話を教えていただいたりしています。 また昨年は、人権啓発フェスティバルで「オイオイズ」という、手話を広めるワークショップを行い、楽しく学ぶということをやらせていただきました。 今回児童用のチラシを市内の小中学校にクリアファイルと一緒に配布をさせていただいたり、広報等で周知をする出前講座というの、やりたいです。 職員研修も、昨年まで正規職員だけが対象だったのですが、今年度から会計年度職員も研修をさせていただきます。 また、手話技術を身につけた市民を養成するために、養成講座も予定をしています。1年間で終了できる講座で取り組んでいきます。 毎月、市長として記者会見を行っています。昨年からは手話通訳を入れて行っています。 一気に広められないのですが、こういう取り組みを子どもたちにさせていただくと、子どもが習って、例えば、お母さん、お父さん、家族の方に、こんなことなんだよと言って、広まっていくのが一番広まりやすいのかなと考えています。親が言うのではなくて、子どもが親に教えるというのが良いのではないかと思いますし、こういう取り組みをぜひ続けていきたいです。手話を当たり前ですけど手話言語ということで、取り組んでいきたいと考えています。				
	(1回目) ・対応日 令和7年 月 日 () ・対応課 課 ・対応方法 ・対応結果 (2回目) ・対応日 令和7年 月 日 () ・対応課 課 ・対応方法 ・対応結果				
担当課	福祉事務所				

NO.	野市町	7		対応状況	完
	農業生産と宅地化のバランスについて				
受付	令和7年4月11日 金曜日 野市町市民懇談会で意見聴取				
意見・質問	米が非常に値上がりして米に対する関心も高まっているので、やはり効率的な農業生産、後継者不足の中で、即座に宅地化ではなくて、やはり農業生産と宅地化と並行して考えていただきたい。そのためには基盤整備、それから国庫のいろんな補助事業の活用等も考えていただき、いろんな面で、取り組むことを検討していただきたい。				
地域への 対応状況等	■当日回答■ 【 市長 】 今の国の農業政策は、大規模化や企業等の参入を大きく前面に打ち出し過ぎていて、政策が高知県のような耕地・耕作面積が非常に小さな地域においては、時々ギャップを感じるがあります。 今の現状として香南市でも、そういう大規模化・集約化というのは、国から進められていますが、行き届いていない現状で、なかなか国の思い描いたとおりにはなっていないと思います。基盤整備も大切で、現在は土地改良区の方々に御協力いただいて、野市町の東佐古で、実際に取り組んでいますし、今後もさらに進めていきたいと考えています。 また、それと同時にもう一方で、基盤整備をされていたところでも後継者がいなくて農業ができなかったり、そういった方々も、しっかりと農業ができるようにサポートしたいです。 消費者の方にとっては非常に厳しい米の値上がりがありますが、特に農家の方々にとっては、しっかりと手取りを増やしていけるということがあれば、子に繋げていったり孫につなげていったり、出来ると思いますので、今、既存でやっておられる、小さくても家族でやられてる方なんかもサポートしながら、農業をしやすい基盤整備というのにも取り組んでいきたいと思っています。 農業生産と宅地化については、御指摘のとおり、宅地化とのバランスをとりながら、応援していきたいと考えています。				
	■後日回答■ (1回目) ・対応日 令和7年 月 日 () ・対応課 課 ・対応方法 ・対応結果 (2回目) ・対応日 令和7年 月 日 () ・対応課 課 ・対応方法 ・対応結果				
担当課	農林水産課				

NO.	野市町	8	対応状況	完
	野市東こども園の登園時の混雑解消について			
受付	令和7年4月11日 金曜日 野市町市民懇談会で意見聴取			
意見・質問	この4月から野市東こども園がスタートした。こども園は7時から開いてます。私は7時から、交通安全指導員として、交通安全指導に毎朝行きます。7時から7時半の間は、あまり保護者は車では来ません。 しかし、7時半から8時半、9時前は、ものすごく混雑をします。その中で、7時半から8時の間は小学生も登校します。しかし、出入口が1カ所です。そこを人や車が出たり入ったりします。そして今の車は車体が大きいので、いつ事故が起こるか分かりません。接触しそうな場面を何回も見ます。だから早急に何とかしてほしいと思って来ました。 保育所のプールの場所…プールを使わないなら、早くそこを返してもらって、一方通行に、北から南に抜けるように出来たら1番安全とみんなで話している。事故が起こらないうちに対応して欲しい。			
地域への 対応状況等	■当日回答■ 【 こども課 】 こども課も朝、現場に行っていますので、現状は把握をしています。 特に、4月7日の月曜日は布団を持っての登園のため、大変混みあっていました。翌日の火曜日から金曜日については、一定は落ちついていました。旧保育所側の駐車場は空いていますが、旧保育所と旧幼稚園の間の駐車場は狭いため、車を停める保護者の方にはご不便をおかけしています。 プールを壊すという件については、全体的なことを考えてのことになりますので、すぐにそこを壊してやります、というようなお話にもならないかと思います。随分以前はそこにプールがなく、車が通行出来ていたと承知していますが、必要だからプールをつくったという経緯もありますので、全体的なことを見ながら、どういうふうになれば良いかを今後検討していきたいと思っています。 ちょうど駐車場の入り口が、小学校の登校ルート上にあり、そのことは以前からの課題でありますので、小学校のことも含めて、全体的な課題として教育委員会の中で検討していきたいと考えています。			
	■後日回答■ (1回目) ・対応日 令和7年4月21日(月) ・対応課 こども課 ・対応方法 発言者と電話により確認 ・対応結果 4月14日(月)以降、大きな混雑が見られていないことから、4月7日は入園後初めての月曜日であり、保護者も慣れていなかったことも混雑の要因の一つだったと考えられることをお互いが確認し、しばらく様子を見ることにしたいことを伝えました。 園にも保護者からの苦情は来ていないが、おたより等により旧保育所の駐車場の利用を促していくことの話を行いました。 (2回目) ・対応日 令和7年 月 日 () ・対応課 課 ・対応方法 ・対応結果			
担当課	こども課			

NO.	野市町	9		対応状況	完
	移住者の定着について				
受 付	令和7年4月11日 金曜日 野市町市民懇談会で意見聴取				
意見・質問	私は他県から母の介護のために、香南市に住んで介護をしています。 この香南トークの4ページの「移住者の獲得を図ります」というところですが、移住者が山北みかんのところなど、いろんな所に来られてると思うのですが、そういう方がどれぐらい定着されているのかお聞きしたい。 私も移住者だが、農業、漁業などで、地元の人が担い手や後継者として残れるような対策が必要ではないか。				
地域への 対応状況等	■当日回答■ 【 地域支援課 】 定着率については移住者の方が、転入されて2年後に、どれだけ定着してるかということ、アンケートを送って調査をしています。 今回、手元に資料を持ち合わせていませんので、具体的な数字は後ほど調べてお伝えさせていただきますが、少し古いデータでは80%を超えていたとは思っています。 また数字は後ほどお示しさせていただきます。				
	■後日回答■ (1回目) ・対応日 令和7年4月11日(金) ・対応課 農林水産課 ・対応方法 懇談会終了後、地域支援課長と対応 ・対応結果 農林水産課では、平成29年から8人の地域おこし協力隊を起用し、6人が卒業しています。卒業したうち1人は定住に繋がらなかったが、他の5人は定住しており、その中の山北ミカンの地域おこし協力隊は全員定住しています。さらに、令和7年の4月末で山北ミカンとニラの地域おこし協力隊がそれぞれ卒業し、独立自営していく予定です。 独立自営を目指す就農者や就業者に対しては、移住者に限らず、国や県の補助事業を活用して最長3年間の支援を行っています。 (2回目) ・対応日 令和7年4月14日(月) ・対応課 地域支援課 ・対応方法 質問者に対して、電話で回答 ・対応結果 移住者の定着率は、令和5年度末現在で、82%。そのうち県外からの移住者は89%。また、地域おこし協力隊の定着率は44%で、そのうち、山北ミカン研修生など、農林業関係者の隊員の定着率は83%になると伝えました。				
担当課	地域支援課 農林水産課				